

番 号 : 141194

国 名 : 大洋州地域

担当部署 : 地球環境部水資源・防災グループ防災第一チーム

件 名 : 気象分野第三国研修フォローアップ協力 (気象)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 気象
- (2) 格 付 : 3号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2015年3月上旬から2015年6月下旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.85M/M、現地 0.47M/M、合計 1.32M/M
- (3) 業務日数 :

準備期間	現地業務期間	国内業務期間
2日	14日	15日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 2月12日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は
郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(い
ずれも提出期限時刻必着)

※2014年 2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
- (2) 業務従事予定者の経験能力等
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 18点

(計100点)

類似業務 :	気象分野に係る各種業務
対象国/類似地域 :	大洋州地域/全世界
語学の種類 :	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし

(2) 必要予防接種：破傷風、A型肝炎、及びB型肝炎の予防接種を受けることを推奨。

6. 業務の背景

大洋州各国は自然災害が多く、特にサイクロンによってもたらされる洪水・土砂災害の被害は、社会・経済活動の拡大に伴い年々増大している。

各国政府は、規模が小さく、国単位での防災への取組が困難であるため、地域的な枠組を通じた取組が不可欠であり、気象分野は世界気象機関（WMO）により、フィジー気象局が南西太平洋地域の「熱帯低気圧プログラムに基づく地域特別気象中枢」として指定されており、同気象局が大洋州諸国の能力向上のハブとなっている。

我が国は、2012年にフィジー気象局の気象観測設備の整備を支援した他、2001年～2012年にフィジー気象局を実施機関とした第三国研修で同局及び大洋州地域全体の能力向上に貢献してきた。

第三国研修は、フィジーを含めた大洋州11カ国を対象に、無償資金協力で整備した施設を用いてWMOの基準に沿って実施され、研修修了者にはWMOの認定証書が授与された。2001～2005年は気象予・警報の基本技術、2007～2009年はより高度な応用レベルの研修、2010年から2012年には気象関連機器の維持管理・キャリブレーション・修理及び気象予測の研修を実施した。

上記第三国研修に参加した各国では研修で指導した内容を活用し、気象予報業務を実施している。また、JICAは2014年12月より長期専門家を派遣し、フィジー気象局の人材育成機能向上のための技術協力を実施中である。

今般、日本気象庁は、2015年1月から通信衛星による気象衛星ひまわりの観測データの配信を開始し、2015年夏頃に新気象衛星ひまわりの運用を開始する予定である。また、現気象衛星ひまわりによる観測データの直接配信は2015年11月頃に停止する予定である。現気象衛星ひまわりの情報を受信している3カ国（バヌアツ、ソロモン、フィジー）においては、新気象衛星ひまわりの観測データを通信衛星から受信し、気象予報の精度を確保する必要がある。この点について、JICAは2014年11月に調査を実施し、上記3カ国の気象局が我が国からの新気象衛星ひまわりの受信機装置の供与を希望していることについて、確認済みである。

7. 業務の内容

上記第三国研修で指導した内容を活用し、気象予報業務を実施している大洋州各国のうち、現気象衛星ひまわりの画像を受信している3カ国（バヌアツ、ソロモン、フィジー）において、各国の帰国研修員による新気象衛星ひまわりの受信に必要な機材の設置にかかる調査を実施することを目的とする。

各国において、必要機材の仕様をまとめると共に、設置可能場所の選定及び実施機関の能力の確認を行う。なお、フィジーにおいては、気象局が保有するアンテナ等機材を活用することを検討する。

具体的な業務内容は下記のとおり。

(1) 国内準備期間（2015年3月上旬）

- ① フォローアップ協力関係資料を確認し、対象機材内容について把握する。
- ② 過去の協力を含む関連報告書等の資料・情報の収集及び分析を行う。
- ③ 国内関係者との事前打ち合わせを実施する。

(2) 現地派遣期間（2015年3月中旬から下旬）

現地調査はソロモン、バヌアツ、フィジーの順番を想定しています。

- ① 気象分野に係る情報を収集し、現状を把握する。
- ② 受信情報の処理経路の確認及びデータ分析の方法の確認を行う。
- ③ SATAIDを含めた現気象衛星ひまわりの情報の活用の度合い、及び予報能力全般に関する調査を行う。

- ④ アンテナ設置の場所選定（障害物の有無、据付に関わる工事の必要性の確認等含む。）と仕様・参考銘柄の調査、受信装置（PC、デコーダーなど）の仕様・参考銘柄の調査、必要台数及び設置場所の確認、電源等の設備の確認、輸入通関時の留意事項（免税通関のための必要手続きや無線ライセンスの確認等含む。）の確認を行う。
 - ⑤ JICAフィジー事務所へ報告を行う。
- (3) 国内業務期間（2015年4月上旬から6月下旬）
- ① 現地調査結果及び収集資料を整理・分析する。
 - ② アンテナ及び受信装置等の仕様・参考銘柄・価格・納期・輸出規制の有無等の調査を行ったうえで、機材仕様書（案）等を作成する。
 - ③ 上記②にて作成した入札関連書類に関し、JICAが入札図書を作成する段階及び入札公告後の質問受付期間中に、JICAからの照会や追加情報の提供に協力する。
 - ④ 落札者決定後に落札者から提出される技術仕様と入札図書（仕様書）の照合を行う。
 - ⑤ 日本側国内関係者との情報共有を行う。
 - ⑥ 上記の内容を踏まえ、フォローアップ調査報告書を作成する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（1）および（2）とする。

- (1) フォローアップ調査報告書（和文2部）
体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出することとする。
- (2) 機材仕様書（案）
「機材本邦調達支援ガイドライン」
（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/ku57pg00000kzwji-att/a1410146405470.pdf>）に沿った成果品とし、電子データを併せて提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積を計上して下さい）。

10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境
 - ① 現地業務日程：現地派遣期間は2015年3月中旬～3月下旬を予定しています。ソロモノ、バヌアツ各4日間、フィジー6日間の業務日数（目安）を想定しております。
 - ② 現地での業務体制：フィジーにおいては派遣中の長期専門家と適宜情報交換を行う。
 - ③ 便宜供与内容：空港送迎、宿舍手配、車両借り上げ、現地日程アレンジ、及び執務スペースの確保をJICAフィジー事務所が行います。
- (2) 参考資料
 - ① WMO機材仕様書案（（https://www.wmo.int/pages/procbiz/notices_en.php）ITB - 1800-15（DRA）Himarawi 8-9を参照。）
 - ② ひまわり受信機の概要（SATAIDソフト、及び該当受信機から得られるその他気象情報も含む。）
 - ③ 2014年11月調査時のミニッツ

上記資料は、その他本業務に関する資料とあわせ、当機構地球環境部水資源・防災グループ防災第一チーム（TEL:03-5226-9586）にて配布します。

(3) その他

①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

②フィジー、ソロモン、バヌアツ国内での作業においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAフィジー事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。

以上